

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援「あいあい」		
○保護者評価実施期間	R8年 1月19 日		R8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日		R8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の状況や家族支援の課題等について常に情報の共有を図り、支援者によって支援内容がまちまちにならないように一貫した支援を実施しています。	毎日朝礼の時に、気づいたことや連絡すべきことを全職員に常に伝達し、検討事項があれば時間を作って話し合いをしています。 また、定期的に職員会議・処遇会議・支援会議等を実施し、支援の方法やあり方等について情報共有を図っています。	今後も個々のお子様のより良い支援に繋がるような話し合いを多く持ち、充実した会議を実施していきたいと思います。
2	当事業所では支援技法としてポータジプログラムを取り入れ事業所だけでなく家庭でも継続した支援ができるよう、保護者の方と一緒に取り組んでいます。	ポータジプログラムの公認のスーパーバイザーや認定相談員を配置し、日々の療育や家族支援の際に活用しています。 SM社会生活能力検査を用いて具体的な支援内容などに活用しています。 医療機関で行われた発達検査(K式、WISC等)の結果も参考にしています。	療育技法等についての更なる職員のスキルアップを目指し、積極的に研修等への参加をしていきたいと思います。
3	保護者からの療育に関する相談や就学についての相談などがあれば、訪問か事業所にて直接対面して、スピーディーな対応を実施しています。 昨年12月からは専門的支援を実施し、子どもさんに合ったより具体的で中身の濃い支援を提供しています。	いずれの保護者にも、個別支援のモニタリングや家族支援等を定期的に対面で実施し、保護者の意向・要望等を把握し、より良い方向での支援に結び付けています。 特に年長児さんについては、就学に向けてグループでの支援を多く実施し、小学校においての集団適応に繋げていきたいと思っています。	今後も、お子様や保護者の方に寄り添った支援を継続していきたいと思います